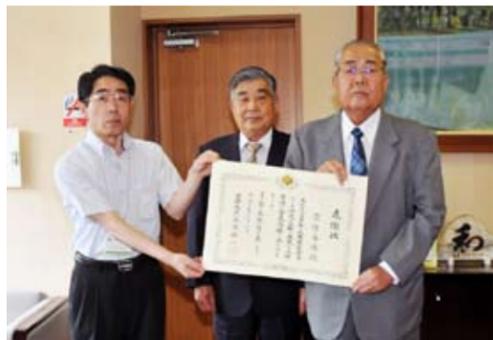




宗像秀雄さんに大臣感謝状

人権擁護活動の功績をたたえる



中村支局長(左)から感謝状を受ける宗像さん(右)

人権擁護委員として3期9年にわたり活躍し、このたび退任した宗像秀雄さん(四ツ谷)に7月26日、法務大臣感謝状が贈られました。

贈呈式は同日、町役場で行われ、中村吉光福島地方法務局若松支局長が宗像さんに感謝状を手渡し、長年にわたり人権擁護と人権思想の普及、高揚に尽力した功績をたたえました。

宗像さんは「世の中や人のために役に立つことができてよかった。自分なりに満足しています」と話しました。

7月1日には、町からも感謝状を贈呈しています。

教員の指導力向上のために

町教委が算数の授業研究会を開催



大野教諭(左)の授業を受ける児童

町教育委員会は7月2日、外部から講師を招き、猪苗代小学校で算数の授業研究会を開きました。教員の指導力向上のために実施したもので、町内外から約80人の教員が参観に訪れました。

東京の筑波大学附属小の大野桂教諭が、猪苗代小の4年生に掛け算の授業を実施。「相性占いをしよう」と大野教諭が黒板に書き、数を使った遊びから始めると、児童たちは生き生きと取り組み、掛け算の法則性を見つけ出しました。

大野教諭の巧みな授業展開で子どもたちが楽しそうに学ぶ姿に、参観した教員らは笑顔を見せていました。

民話や会津女性の話を披露

改善センターでいなわしろ民話まつり



瓜生岩子の話を披露した黒澤洋子さん

いなわしろ民話の会(鈴木清孝会長)が主催する第12回いなわしろ民話祭り「会津のおなご達の物語と郷土の民話を楽しもう」は7月15日、町農村環境改善センターで開かれ、約150人の来場者がほのぼのとした語り聞き入りしました。

会員約20人が出演し、「人の数をよむ花」「半坂の化けもの屋敷」などの民話のほか、NHK大河ドラマ「八重の桜」の放送を記念し、「ハンサムウーマン新島八重」「会津娘子隊・中野竹子」「日本のナイチンゲール・瓜生岩子」など会津の女性にまつわる話をかわるがわる披露し、集まった来場者を楽しませました。

犯罪のない明るいまちへ

「社会を明るくする運動」強調月間



JR猪苗代駅前啓発グッズを配る参加者

「社会を明るくする運動」強調月間の7月、町内では猪苗代地区の保護司会や更正保護女性会などの関係団体により、犯罪のない明るい社会を築くための活動が繰り広げられました。

1日早朝にはJR猪苗代駅前啓発活動を実施。高校生が通学で電車を利用する時間に合わせて行われ、関係団体から参加した約40人がチラシやポケットティッシュなどの啓発グッズを配り、犯罪や非行防止を呼び掛けました。

17日には町内で広報活動を展開。広報車で犯罪のない社会づくりを呼び掛けたほか、事業所などを巡回し協力を求めました。

幻想的なひとときを体験

亀ヶ城公園でホタル観賞会



「いたー！」ホタルを見つける佐藤太亮さん

いなわしろにホタルを呼び戻そう会(小橋勝幸会長)が主催する「ホタル観賞会(平家ホタル編)」は7月15日、亀ヶ城公園で開かれ、親子連れなどが幻想的なひとときを体験しました。

参加者らは、学びいなどでホタルの生態などについて説明を受けた後、公園にある川の近くへと移動。夜空に舞うホタルを眺めたり、つかまえて手のひらにのせたりして観察しました。

両親と共に参加した佐藤仁美さん、太亮さん、心咲さんは「とてもきれいだった」「オスとメスの見分け方がわかった」などと話していました。

過去最多の参加者が健脚競う

町民健康マラソン大会に493人



勢いよくスタートするリレーマラソンの参加者

25年度の町民健康マラソン大会は6月30日、町民運動公園で開かれ、参加者らが健脚を競いました。

今年は小・中学生を中心に過去最多の493人が参加。男女別、年齢別などの23部門を繰り広げ、青空の下、選手たちはゴールを目指して爽やかな汗を流しました。人気種目の親子競争やリレーマラソンには合わせて96組が参加。応援に駆け付けた家族などから盛んな声援が飛びました。

会場では、町食生活改善推進員らにより豚汁が振る舞われ、選手や応援に訪れた家族たちから好評を博しました。